

## 令和5年11月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年11月分について、輸出額は「映像機器」、「原動機」などが減少したものの、「自動車」、「石油製品」などが増加したことから、対前年同月比 28.0%の増加となった。また、輸入額は「石炭」、「石油製品」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「液化天然ガス」などが増加したことから、同 18.6%の増加となった。  
その結果、差引額は1,227億円（同 11.7%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,043億円	+28.0%	2,269億円	+18.6%	▲1,227億円	+11.7%
	4ヵ月連続の増加		8ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	137億円	+180.8%	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,306億円	+32.5%
		(2) 石油製品	136億円	+68.1%			(2) 液化天然ガス	402億円	+54.0%
		(3) 建設用・鉱山用機械	39億円	+86.3%			(3) 液化石油ガス	90億円	+46.0%
	減少品目	(1) 映像機器	6億円	▲80.7%		減少品目	(1) 石炭	81億円	▲60.7%
		(2) 原動機	17億円	▲23.5%			(2) 石油製品	61億円	▲17.6%
		(3) 精油・香料及び化粧品類	11億円	▲18.2%			(3) プラスチック	17億円	▲37.0%
地域別動向	西欧、大洋州が増加				地域別動向	中東、アジアが増加、大洋州は減少			

（参考）ドルレートは、150.34円（前年同月比2.7%、3.91円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。